

平成30年度第3回埼玉県スポーツ推進審議会【議事録】

日時：平成31年3月29日（金） 13：00～14：30

場所：埼玉県県民健康センター 中会議室

【議 事】

- (1) スポーツ科学拠点施設、屋内50m水泳場について
- (2) 平成31年度の主な事業と予算概要について
- (3) ラグビーワールドカップ2019大会について
- (4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について

【出・欠席委員】

- (1)出席委員（12名）
秋本委員、太田委員、加賀谷委員、加藤委員、白石委員、田部井委員、
徳永委員、狭間委員、細川委員、松島委員、望月委員、山関委員
- (2)欠席委員（4名）
天野委員、大保木委員、金子委員、中西委員

1 開 会

2 挨拶 県民生活部スポーツ局長 山野 均

3 署名委員の決定等

本審議会規則第6条第2項の規定により本審議会が成立することを確認。
議事録の署名委員を加藤委員と望月委員に決定。

4 議事

審議事項1（スポーツ科学拠点施設、屋内50m水泳場について）

事務局から資料1を使い説明した。

○狭間委員

施設の規模や建設期間について、埼玉県ではどのように想定されているのか、前回の審議会から進捗があれば教えて下さい。また、他県の例を挙げていただきましたが、収入と支出について詳細を教えて下さい。

○事務局（スポーツ振興課）

施設の規模や期間につきましては、現在は他県の例を多く収集している状態です。建設場所が決まれば、規模や建設期間なども決定すると考えております。県議会からは、上尾の水上公園や川口の運動公園などがご提案されていますが、建設場所につきましてはこれからという段階でございます。

収入と支出につきましては、福岡県スポーツ科学情報センターでは、収入が6700万円で、支出が1億9400万円となっており、差額は福岡県が負担しております。また、金沢プールにつきましては、市の施設となっており、収入と支出の差額は金沢市が負担しております。

○狭間委員

この収入と支出については、建設から年数がたっても負担する額が減少するようなことはないのでしょうか。

○事務局（スポーツ振興課）

事業収入が増えたり、老朽化による修繕があったりと多少の増減はあるかと思いますが、施設の性格上、大まかな数値は変化がないと考えております。

○細川会長

収入と支出に関しては、私も気になるとことですが、建設するという決断をしていただいたことにつきまして、深く感謝申し上げます。大きな大会の誘致等で出来るだけ収入や施設の認知度を広めていけるような努力が必要になってくるかと思っております。

○事務局（スポーツ振興課）

ここに示しているものは、施設のための収入と支出でございます。この施設があることによる経済波及効果については、別途考えられます。金沢プールについては、昨年に国体の会場となっており、全国から関係者が集まることで金沢駅周辺のホテルは満杯の状態が1週間ほど続いておりました。こういった大会が年に数回ございまして、また、年間を通じて他県のクラブチームが合宿等で使用するなどの経済効果も考えられます。

○細川会長

御説明ありがとうございます。引き続き具体化に向けてよろしく願いいたします。

審議事項2（平成31年度の主な事業と予算概要について）

事務局から資料2-1～資料2-4を使って説明した。

○太田委員

障害者スポーツということで、ボッチャ大会については、色々な場所で開催するという方向で考えてよろしいのでしょうか

○事務局（障害者福祉推進課）

この大会は、10月5日に武道館で行う予定で、現在参加者を募集している段階です。

○徳永委員

最近では、マラソンというとチャリティーマラソンが当たり前の様についてきて、東京国際マラソンや大阪マラソンでも実施されています。埼玉国際マラソンも、大きな大会ですので、次回大会は5月にエントリーが始まってしまうので難しいかもしれませんが、将来的にチャリティーマラソンを組み込むことも考えているのかどうか教えて下さい。

○事務局（スポーツ振興課）

埼玉国際マラソンは、さいたま市、県、読売新聞社、日本テレビ、日本陸連の5者が主催となっております。主催する側として、様々なマラソンの活性化策が検討されておりますが、チャリティーマラソンに関しては、具体的に話はでておりません。本日いただいた御意見につきましては、今後の主催者の会議にて取り上げていきたいと思っております。

○山関委員

スポーツ指導者のスキルアップにつきましては、今後重要になってくると思われますが、研修会についてはどのような方を対象に考えていらっしゃいますか。

○事務局（スポーツ振興課）

競技団体のコンプライアンスの確保という観点から、理事長や会長など各団体の運営責任者を対象と考えております。また、現場のパワハラやセクハラなどへの対応として、強化委員長や国体の監督をされる方を対象にして、資質向上を図ってまいりたいと考えております。

○白石委員

スポーツ指導者スキル事業につきましては、障害者スポーツの競技団体も対象にさせていただけるのでしょうか。

○事務局（スポーツ振興課）

現在、障害スポーツの競技団体の方々とは、お話をさせていただいておりません。しかし、除外しようと考えている訳ではございませんので、今後は情報提供をしていくことを考えてまいります。

○細川会長

是非、障害者スポーツにも目を向けていただくということで、よろしく願いいたします。

審議事項3（ラグビーワールドカップ2019大会について）

事務局から資料3を使って説明した。

○太田委員

一番の心配はテロ対策ですが、最近は東京マラソンやコンサートでも話題になっているように、チケットの転売等の対策についてどのように考えていらっしゃいますか。また、出場選手の家族や海外からの観客に対するの保険やカードの支払ができない場合の医療費の問題についても整備されているのでしょうか。

○事務局（ラグビー課）

テロ対策につきましては、オリンピックの前哨戦と考えており、県警本部としっかり連携して取り組んで参ります。当日のチケットにつきましては、1人の個人名で6枚まで購入できることになっており、全てのチケットに名前が割り当てられているわけではありません。また、紙チケットと電子チケットが混在している状態で、入り口ではそれが本物であるかどうかを確認することと、金属探知機等を用いた荷物チェックを行う予定です。チケット転売の防止につきましては、法律が6月に施行されます。すでに、売買サイトが多く確認されておりますが、そこで購入したチケットは使用不可という告知を組織委員会がしております。チケット購入後に行けなくなった場合は、公式のリセールサービスが5月の下旬に始まる予定です。

救護対策につきましては、徒歩導線や公園内に5カ所の救護所を設けて、一般の観客の方に対応していきたいと考えております。医療保険につきましては、公的な形で対応することは聞いておりませんので、それぞれの病院で対応していただくことになると思います。しかし、外国人との言葉のやり取りに関しては、テレフォンセンターを通じて医療通訳の仕組みを設けて対応していきます。

○加藤委員

ワールドカップ後のパナソニックのクラブハウスを、どこに作るのか教えてください。

○事務局（ラグビー課）

詳細はこれからですが、熊谷スポーツ文化公園は88ヘクタールございますので、空いている場所に企業側に建てていただくようお願いしております。しかし、都市公園ということで、チーム専用のものを建てることができませんので、使用しない時は一般県民が使用できるようなものにしてもらうよう依頼しております。

○細川会長

チケットが完売ということで、大変嬉しいことですが、県民の方はチケットの購入はできているのでしょうか

○事務局（ラグビー課）

ラグビーワールドカップのチケットは第二次一般販売までは完売となっておりますが、日本代表対南アフリカの壮行試合のチケットは、6月下旬頃（予定）から販売になりますので、是非お申し込みいただきたい。

審議事項4（東京2020オリンピック・パラリンピックについて）

事務局から資料4を使って説明した。

○太田委員

ホストファミリー等の医療に対する対応ですが、地元の病院に対して連絡が来ていない様ですので、早めに対応していただければと思います。

○事務局（オリパラ課）

加須市の医師会には説明しているはずですが、現場にまでは伝わっていないのかもしれないので、確認していきたいと思います。コロンビアにつきましては、埼玉を気に入っていただいている様で、次から次へと要望が参ります。予定通りには物事が進みませんが、こちらもそれに対応できるようにしてきました。

○太田委員

加須市は、地元に大きな病院がございませんので、久喜や栗橋の病院に早めに連絡を取ってほしいと思います。

○松島委員

私も、コロンビアとのトラブルについてはいくつか聞いております。その部分で、国や県、市の対応について迎える側からすれば、トラブルにならないような仕組みを考えてもらいたいです。

○事務局（オリパラ課）

コロンビア、イタリア、ブラジル、オーストラリアの柔道に関しては、地元の市だけでなく県もホストタウンとして登録していますので、協力して対応してまいります。

○細川会長

簡単な説明では計り知れない、御苦勞をされている様子が感じられますが、今後どうぞよろしくお願いいたします。また、イベントの来場者数として、オリンピックの51万人に比べて、パラリンピックが5万人ということで、素晴らしい数だとは思いますが、やはり少ない気もしますので、パラリンピックに対しても更に取り組んでいただければと思います。

○事務局（オリパラ課）

この数につきましては、単純に会場のキャパシティの関係です。このイベントにつきましては、会場全体を装飾いたしましたので、施設への来場者全体を参加者として見込んだ数字でございます。どちらも通常の土日営業日より、来場者が増加したということでした。

○細川会長

現在は共生という視点が学校でも重要だと考えられておりますが、このパラリンピックを機会に広がっていけば良いと思いますので、是非オリパラ1年前月間イベント等で盛り上がっていくことを期待しています。

事務局から今後の審議会開催日程について連絡をした。

5 閉会

署名 _____ 印

署名 _____ 印

署名 _____ 印